

# 2022年6月 研修説明会報告



6月11日に2022年度夏の岡山大学産婦人科教室 医局説明会を行いました。

岡山大学病院の感染防止のルールに基づき、現地参加で16名、オンラインでの参加で3名の初期研修医および学生の先生方が参加されました。今回は初期研修医の先生を対象に、説明会に先立ち3時間程度のハンズオンセミナーをエチコン事業部株式会社のご協力のもとで行えました。セミナーは産婦人科で必要なスキルとして、周産期ブースでは会陰切開縫合や肩甲難産のシミュレーション、手術ブースでは腹腔鏡手術のドライボックストレーニングやエネルギーデバイスの使用について実習を行いました。久しぶりに対面でのセミナー開催が無事行えまして、参加された先生だけでなく開催した我々からしても大変楽しい思い出となりました。

医局説明会ではまず久保光太郎教育医長より岡山大学病院産婦人科の研修プログラムについての説明があり、その後3名の産婦人科の先輩医師の方から自身のキャリアパスについてのお話がありました。

まず後期研修医で現在農学部と共同研究をしており、今年専門医試験を受験予定である岡本遼太先生から、自分の産婦人科を選らんだ理由や研究を中心に考えてきた今までの経緯についてお話がありました。



次に後期研修の期間を終えて現在腹腔鏡手術の研修のため大阪中央病院に勤めている楠元理恵先生からオンラインで、産婦人科特別プログラムを経て今まで経験した研修病院の話や、手術を専門にしたいと考えたいきさつなどにつきお話がありました。最後に現在婦人科の病棟医長をされている小川千加子先生の方から、岡山大学の医局へ入ってから婦人科腫瘍や遺伝関係の修練をつみながら、結婚・出産などを経験されたご経験につきお話がありました。

どの先生も非常にユニークな経歴があり、様々なキャリアプランが実現可能であることが示された会となりました。最後に参加者の先生方から、発表者の各先生や増山寿教授に直接聞きたいことを質問する時間もあり、皆様の疑問や不安が解消されていったかと思えます。

岡山大学病院は多様性に富む先輩医師歯が在籍しております。きっとご自身の状況やキャリアプランに合うロールモデルが見つかると思います。

興味がある方は是非、[okadaibgyneducation@gmail.com](mailto:okadaibgyneducation@gmail.com) へご連絡ください。

お忙しい中ご参加いただきました学生や初期研修医の皆さん、ご協力いただきました医局員の皆様、ありがとうございました。

